

3類型	農林水産物	通巻番号	2 - 19 - 008
地域資源名	大豆、セリ、おうとう、ぶどう、りんご	認定日	平成19年10月12日
地域	秋田県湯沢市	所管省庁	農林水産省、経済産業省

**事業名：地域野菜や果物を活用した業界注目シェフ'菅'のドレッシングシリーズ
確立と新シリーズの開発**

会社名：あお葉フーズ

所在地：秋田県湯沢市沖鶴103-1

連絡先：TEL：0183 - 78 - 0863

HP：<http://aobafoods.com/>

事業概要(新たな活用の視点)

- ・平成13年よりフランスレストラン「シェ・アラジン」を経営しているが、地域経済の衰退等により厳しい経営状況が続いており、新たな収入源を確保する事業展開が急務であった。
- ・地元の食材を活用したドレッシングの開発と販売に着手し、大手メーカー・著名シェフからのOEMでの生産依頼など多くの商談が寄せられているが、商談の内容は、単価が低く、生産体制が未整備なことから売上増加までにはいたっていない。
- ・本事業では、地域資源を活用した自社ブランドによるドレッシングシリーズ、ピクルスシリーズを確立し、最終的には、レストラン事業と自社ブランド商品の工場を併設したファームファクトリーの建設により、県内外の顧客への直接販売を展開する。



【ドレッシングシリーズ】



【ピクルスシリーズ】

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

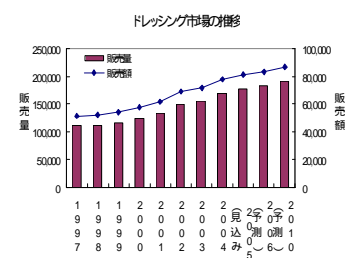
- ・ドレッシング市場は、大企業寡占市場であり、地元で採れた野菜や果物を独自のレシピでドレッシングを製造販売している企業は少ない。
- ・当社を代表する商品となっている納豆ドレッシングは、オリジナル商品であり、様々な雑誌で取り上げられている。

市場性

- ・消費者の健康志向の高まりにより、市販用ドレッシングは、販売実績を伸ばしており、業務用・加工用でも中食・外食向けを中心に需要が拡大しており、今後もドレッシング市場は拡大していくことが予想される。

販路

- ・ターゲットに応じたドレッシングシリーズを開発し、インターネットや産地直売所、特産品コンクール等での需要開拓を図る。



【ドレッシング市場の推移】

地域資源における関係事業者との連携

- ・湯沢市、湯沢商工会議所からの支援を受けて特産品の開発を行っている。(湯沢市特産品コンクール入賞)